

朝夕はすっかり寒くなり、布団の恋しい季節となりましたね。皆さんは「読書の秋」を満喫していますか？図書館では、昼休み・放課後ともにゆったりと本を読むことができますので、いつでも気軽にお越しください。



古本市のご報告

文化祭で、古本市を行いました。本の配置や飾りつけは、図書委員が考え、工夫しました。たくさんの方が来てくださり、とても楽しい古本市となりました。ありがとうございました！

売り上げ冊数…**58冊！**

本を寄贈してくださった皆様、購入してくださった皆様、ありがとうございました！

今回の売り上げは、図書室に新たな小説・漫画本などを置くために使わせていただきます。図書委員が本を選びに行くので、新しい本を楽しみにしててください！裏面にリクエストシートがありますので、ぜひご利用ください。



古本市の様子





図書委員のオススメの本紹介



ルポ 貧困大国アメリカ 著者:堤 未果 出版社:岩波新書

ルポ貧困大国アメリカは、豊かな見えるアメリカ社会の裏側で広がる「見えない貧国」を追ったノンフィクションです。医療、教育、労働、軍事など、あらゆる分野で市場原理が優先される中、庶民の生活がいかに苦しくなっているかを実際の人々の証言を交えてリアルに描いています。特に、日本も同じ道をたどっている可能性があるという警告が込められており「自己責任」では語れない貧困の構造を理解する上で重要な一冊です。本書に描かれているのは、決して遠い国の特殊な問題ではありません。格差の拡大、自己責任論の蔓延、弱者切り捨ての論理は、静かに日本にも広がりつつあります。だからこそ、本書はアメリカの話として読むだけでなく、「私たちの社会のこれから」を考える材料として、多くの人に読んでほしい一冊です。

(担当:大沢)



あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。 著者:汐見夏衛 出版社:スターツ出版

私のおすすめの本は、「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」です。この物語は主人公の百合が母親とケンカをして、家を飛び出すところから始まります。家を飛び出して来たので行くあてもなく、住宅街の外れの裏山で野宿することとなった百合。そして、目を覚ますと、百合は七十年前の日本にタイムスリップしていました。そこに偶然通りかかった彰に助けられ、彼と過ごすことになります。百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていきました。ですが、彰は特攻隊員でほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命でした。タイムスリップと戦争が二人の運命を大きく狂わせる、せつないラブストーリーです。この物語で私が好きなシーンは、彰が百合を連れて花畑を見に行くシーンです。物語の中でも、特に重要なシーンです。ぜひ、読んでみてください。 (担当:青野)



本のリクエストを募集します！！



古本市の売上金を使用して、図書室の本を充実させたいと思います。小説・漫画本など、図書室にはないけれど、こんな本が欲しい！という本がありましたら、下記の切り取り線を切り取って、図書委員に渡すか直接図書館まで持ってきてください。あなたの欲しい本が図書室に増えるかも！？(全ての希望には添えない場合があります。)

締め切り 11月27日(木)



図書室に欲しい本のリクエスト